

令和 5 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会（第 1 回専門部会） 議事要旨

会議名：令和 5 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会 第 1 回専門部会

日時：令和 5 年 7 月 19 日（水）18:15～20:00

場所：複合施設 KOKOTTO

参加者：委員 17 名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

(1) アンケート調査結果について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料 1 に基づき、住民アンケート結果について説明
会長	質問等ありますか。
副会長	資料中、緑色の吹き出しで「検討を行います」「配慮します」といった文言が見受けられるが、検討委員会の意見を踏まえず対応を決定しているように見える文言は不適切であると考えている。

*現在、事務局でアンケート調査結果資料の見直しを行っております。

(2) 地区別説明会の実施結果について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料 2 に基づき、地区別説明会の実施結果を報告
会長	質問等ありますか。
委員	なし。

(3) 幼児教育にとって望ましい再配置に関する幼稚園数と実施時期について	
会長	まずは委員の皆様のお考えをお聞かせいただけますか。
委員	各地域に幼稚園があってほしいと思いつつも、子どもの数が減ってくると統合も仕方ないと思われる。矢吹幼稚園に入園する園児が 5 人程度になるといった噂も耳に入っており、このような状況では統合はやむを得ないと考えている。
委員	統合は避けて通れないと思っている。園児数が減少していけば、遊びや学びが少人数でしか行えなくなり、子どものふれあいの機会が少なくなる。一定程度人数がいたほうが園児にとって望ましいのではないか。
委員	現在住んでいる地域の幼稚園では園児数が一定程度確保できているが、統合するのは致し方ないと考えており、むしろ将来を見据えてポジ

	<p>タイプに考えている。現在中学校も 1 校だけという状況のため、幼稚園や小学校が統合することは前向きに考えている。</p>
委員	<p>アンケートの結果を見ると、三神地区の保護者は統合に関して相当慎重であることが分かる。三神地区に住んでいる立場としては、地域コミュニティに愛着を感じるし、アンケートにおける三神地区の保護者の気持ちもよく理解できる。しかし、子ども達の立場に立った場合には、今後 1 学年で園児数が 3~5 人となることが子どもにとって適切かは疑問である。学年によっても変わるかとは思いますが、やはり 1 学級あたりの園児数が 20 人程度いるのが理想である。ただし、自分が子どもの頃は 1 学級あたり園児数が 30 人以上となっていたが、そのように園児数が多すぎる状況よりはよいと思われる。したがって、これまでの検討内容に賛同し、統合すべきと考えている。</p>
委員	<p>結論としては統合に賛成である。アンケート結果を見ると、親の視点での意見が多い。自己中心的な意見に囚われていれば検討が進められないため、委員会では共通の方向を向いて検討を進めたいと考えている。また、現在私立の園が各地区に存在しない状況であるため、例えば、聖和学園が中畑地区・三神地区に来てもらえれば状況も変わるのではないか。そういった点も踏まえて検討を進められればと考えている。</p>
委員	<p>結論としては統合に賛成である。自分の子どもの頃を振り返ると、子どもの頃の友達は大変と思われる。園児数が一人だけの園をテレビで見たことがあるが、子どもとしては寂しいと感じているようである。家庭環境は様々であるため難しいところもあるが、子ども達の立場に立てば、統合を前向きに考えることも重要である。</p>
委員	<p>統合しなければならない状況となっており、統合は仕方ないと考えている。ただし、検討を進めるにあたっては保護者の意見をもっと吸い上げ、説明を行うなど、保護者の不安を解消するようにしてほしい。</p>
委員	<p>矢吹中学校が今のように 1 校に統合するに至った大きな理由の一つは、統合前の各地区にあった中学校が老朽化しているものの、各々建て替えの予算がないため 1 校にするという大人の都合で統合に至った経緯がある。現在、小学校も老朽化が進んでおり、また各地区に幼稚園を建て替えることは財政的に難しいと考えられる。統合するのであればどのように進めるかをよく検討して進めなければ、地域からの反感が強いと思われる。</p> <p>また、三神地区は区域が広く、矢吹から三神まで 7km 程度の距離となっているため、通園が大変になると思われる。送迎等についても十分検討することを望む。</p>

委員	<p>既存幼稚園の建て替えは財政的に厳しいと思われる。また、財政支出を抑制できれば、住民の税負担も抑えられると考える。町外に人口が流出している理由の一つに「税金が高い」という理由があり、住民の税負担を抑えなければならないと考えている。</p> <p>また、防犯面から統合にかかる検討も必要であると考えている。他県でのことになるが、幼稚園や小学校に不審者が侵入し子どもが傷つけられる事件が起きていることもあり、先日実施の幼稚園の視察の際には、防犯面に着目して視察を行った。矢吹町は地理的に白河警察署から遠いことから、治安面で懸念しているところがある。そこで、幼稚園が統合すれば園の経営効率上がり、そうして生まれたお金で警備員を配備すれば治安向上につながるのではないかと考えられる。今後、統合により教育施設の集約を進めることができれば、警察もその周辺を重点的にパトロールしやすくなり、安全の確保につながっていくと考えている。ただし、現在の幼稚園による地域のつながりが失われるのは心苦しいと感じている。</p>
委員	<p>子育て世帯ではない自分の意見より子育て世帯の意見を尊重したいことから、賛成・反対とは言えない。ただし、2点意見を上げさせていただきたい。1点目は、統合した場合、地区によって通園時間すなわち送迎の負担がどの程度変わるかについては考慮しなければならない。2点目は、現在中学校が1校、小学校は4校となっているが、そこで幼稚園が1園に統合されると、小学校に上がる段階で交遊関係が一旦失われることとなり望ましくないとする。学区割の見直しや小学校の統合も考慮すべきではないか。</p>
委員	<p>皆様の意見と同じく、子ども達からみてどのような教育体制とすべきかという目線で検討することが最も重要と考える。ただし、検討にあたっては保護者の目線・地域住民の目線など多角的な視点からとらえていく必要がある。</p> <p>人口減少は町だけの問題ではなく、どの地方自治体でも同じような問題を抱えている。類似の状況にある自治体も参考にしつつ、子ども達・保護者・地域住民の声を踏まえ、慎重に進めていくことが重要となる。今後人口減少が進む状況を踏まえ、統合を見据えてどのように進めていくかを皆が納得できるように検討することが、この検討委員会の意義だと思っている。</p>
副会長	<p>子どものためを考えれば、統合すべきと考える。幼稚園を視察した感想としては、現在の幼稚園を存続させることができればベストである。幼稚園を統合するのであれば小学校と一緒に統合できればいいと思って</p>

	<p>いる。</p> <p>また、3～5 歳児は学年ごとに 1 学級くらいが望ましい園の規模であり、3～5 歳は、年齢を超えて交流して遊べるような環境が必要と考えている。よって、統合によって園児数が多くなりすぎるのも問題であり、統合のタイミングをどのように考えるかは難しい。</p> <p>住民アンケートの設問 5 の選択肢で「子どもの主体的対話的で深い学びが実践されるような、特色ある教育内容」とあるが、これは国のスタンダードな考え方であり、「特色のある教育」とは言えないと考える。</p> <p>また、住民アンケートや住民説明会において保護者から英語やピアノといった教育を充実させてほしいというご意見が上がっているが、これは各家庭で実施する教育である。幼稚園や保育園では、小学校の予備校のように何かができるようになる教育を押し付けるのではなく、主体的に自分を発揮し新しい環境を作り出すといった幼児期に必要な育ちを与えられるような環境を整えてあげることが重要である。やらせる保育ではなく、学ぶ保育を重視したい。</p>
会長	<p>委員会の全体の意見としては統合に賛成ということで認識した。</p> <p>今後、懸念事項を踏まえたうえで検討を進めたい。</p>
事務局	<p>資料 3 に基づき、幼児教育にとって望ましい再配置に関する幼稚園数と実施時期の検討内容を説明</p>
会長	<p>今後、資料 3 の P9 のパターンで検討を進めていきたいと考えている。</p> <p>その他、このような資料が欲しいといった意見はあるか。</p>
委員	<p>若い世代は矢吹地区に引っ越してくるのではないかと考えている。このような社会増について推計ではどのように考えられているか。</p>
事務局	<p>社会増のトレンドは将来推計に考慮していない。</p>
委員	<p>人口減少が前提とされているが、町に人口が増える要素はないのか。子育て支援施策の実施により人口増を図るべきではないか。</p>
委員	<p>今後は幼稚園ではなく認定子ども園を選ぶ人が増えるのではないか。こういったことは推計において考慮されているか。</p>
事務局	<p>認定こども園及び保育園を合わせた定員は 200 名程度であり、現在の園児数は定員に近い水準となっているため、さらに認定こども園等の園児数が増えていくとは考えていない。</p>
副会長	<p>政策で人口増加を目指すというのは、どの自治体も課題になっているが、実現は容易ではない。子育て世帯が増えても持続的な人口増加につながるとは限らない。さらに、晩婚化の進行や子どもを持たないという選択をする方の増加など、生き方が多様化してきており、子育て世帯の増加も難しいと思われる。社人研の人口推計をみても、特に東北地方は</p>

	<p>人口減少が急激に進むと見込まれている。そのような状況において子どもの数を増やそうとすることは、並大抵の努力では実現が難しいと思われる。</p> <p>また、私立の園は経営が成り立たなくなれば撤退することから、最後まで町に残るのは公立の幼稚園である。聖和学園の野のはな園は待機児童の解消のため 0～2 歳児の受入れを拡大したこともあり保育室が足りないことから、今後は受け入れを減らしていくことを検討している。野のはな園は、園舎の建築費用の高騰を受けて、新築を断念した経過もあり、将来的に子供の数が減少してくれば、園を閉じることも視野に入れている。余力のあるうちに今後を見据えた対応を検討することが必要である。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 閉会	
会長	事務局説明をお願いします。
事務局	資料 4 に基づき、今後のスケジュールを説明 第 2 回幼稚園専門部会は 8/28 に文化センターの小ホールで実施予定である。
委員	住民説明会においては保護者の参加が少なかったため、保護者の意見をお聞きする必要があると考える。教育委員会が各地区の幼稚園に訪問して説明していただきたい。その方法であれば保護者も参加しやすいと思われる。
事務局	幼稚園の園長先生などと連携し、実施に向けて検討したい。

以上